

会 議 結 果

会議名 (審議会等)	令和3年度 高砂市子ども・子育て・若者会議 第1回子ども・子育て部会
開催日時	令和3年11月9日(火) 18:30~19:30
場 所	高砂市役所 南庁舎5階大会議室
会議公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 (傍聴者定員数: 5人) (傍聴者数: 0人) <input type="checkbox"/> 非公開 (非公開理由: (例) 情報公開条例第7条の規程に該当するため。等)
事務局 (担当課)	健康子ども部 子育て支援課 (TEL 079-443-9024)
議 題	(1) 公立就学前教育・保育施設の今後の在り方について (2) 荒井幼稚園の3歳児の実施について (3) その他
出席委員	日坂歩都恵部会長、小林謙委員、岩澤直子委員、瀧野祐一委員、竹内茂雄委員、坂牛保之委員、石谷嘉英委員、内門真千子委員、北野政美委員、篠田さちよ委員、富永朋美委員
結 果 (議事録又は議事概要)	
発 言 者	内 容
事務局	議題 (1) 「公立就学前教育・保育施設の今後の在り方について」 【 事務局より、資料①、②に基づいて説明 】
部会長	事務局からの説明が終わりました。ただ今の説明につきましてご意見、ご質問等ございましたらお願い致します。
委員	荒井幼稚園が3年保育、この4月からしていただける事になったのですが、皆さんの声を聴いていたら給食がなくて、お弁当なんですね。それで、やっぱり毎日お弁当というのはお母さん達も大変だし、給食で嫌いな物とかが出ても克服とかできるの

事務局	<p>に、そういう経験が減ってしまいます。年長さんは週2ぐらいで給食が出ているらしいので、年少さんの時からちょっと取り入れてもらえないかなと思うのです。</p> <p>急には無理だと思うのですが、ちょっと検討して頂けたら、と思います。</p> <p>以前からもそのようなご意見いただいております。今おっしゃいましたように5歳児さんには週に2回、小学校から給食を作って運んで食べて頂いているという状況です。今、小学校の給食室のキャパ等も考えまして、今の5歳児さんの週2回が限界かな、ということは担当課から聞いています。</p> <p>それから3歳児4歳児さんの小さいお子さんの給食については、どうしても小学校で調理していますので、食材を喉に詰まらせないように小さくするであるとか、献立等についても今は難しいかなと言うようなところで担当課から聞いております。</p> <p>そういう状況ですので、ご理解をいただきたいと思います。よろしくお願ひ致します。</p>
部会長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>8点目の地域別の方向性と課題の所で、西部地域で北浜こども園が民間移管を検討する必要があるとありますけれども、資料2の方の北浜地区を見ますと、今後更に人数が減ってきて、人数が減ってきている中で民間に受け入れてもらえるのかどうか、という所が非常に気になるのですけれども、そのあたりを少しお伺いしたいと思います。</p> <p>特に北浜地区少し離れていますので、やはりその地区の方にとっては自転車で送り迎えができる距離にこども園は必要じゃないかなと思うのですが、民間移管ができなかった場合に、かつどこかで記載がありましたけれども、ある一定の人数規模が下回る場合は統廃合を検討するという記載もありましたので、その辺を今どう考えていらっしゃるのかを教えてくださいませんか。</p>
事務局	<p>まず、北浜地区はこの表にありますように人数が減ってきている中で、保護者の方が希望するような保育ができる民営化といったときに、民間の業者さんが手をあげてくれる所があるかどうかというのが1番の問題になってくると思います。そういった場合には事前にヒアリング等を行って、こういった仕様状況、仕様の中で、やってくれる所があるかどうかというのは打診をして、どういう形になるかは分かりませんが、どこか一事業所でもありましたら、募集をかけていくような方向になるのかなと考えてお</p>

	<p>ります。</p> <p>もし民間移管ができなくなった場合になんですけれども、そういった時につきましては公立の方で残していくのかどうかというのは、その時の人口推移を見ながら検討していく、再検討に入るのかな、という風に思います。以上です。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p> <p>今後の人口の推移も変化していくと思われそうですが、その中で色々と問題が出てくる中、何か質問ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>あの、今回の資料とは少しちょっと違う、出てないと思うのですが、高砂市の多子家庭への、補助と言いますか、援助や制度について確認したいのですけれども。</p> <p>何人か以上だと、保育料の減免があったかと思うのですが。</p>
事務局	<p>保育料の件についてだと思うのですが、現在、多子世帯の方につきましては、お二人目半額、3人目無償というような形で保育料の方は算定させてもらっています。ただ上のお子さんの就学状況や年齢が、所得の階層によって違ってきますので、そのあたりはそれぞれ違ってきます。それとは別に兵庫県には、ひょうご保育料軽減事業というのがございます。こちらは県と市の負担でしているのですけれども、その国の制度の半額や無償に該当されない家庭の第一子、第二子以降のお子さんにつきましては、所得の階層により一部の保育料の助成がございますので、対象の方には補助させていただいている状況でございます。以上です。</p>
委員	<p>所得の事は分かるのですけれども、年が離れた子どもさんへの補助が何かなかったか、と思うのですが。</p>
事務局	<p>所得の階層によって年が離れている小学生や中学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんがいる場合でも第二子、第三子とカウントされる場合があるのですが、所得の高い階層につきましては就学前のお子さんから第一子、第二子と数えさせていただきますので、そのあたりがちよっと違ってきています。</p>
委員	<p>それは高砂市独自の算定の仕方なのですか。それとも全国的に決まっているものでし</p>

	<p>ようか。</p>
事務局	<p>全国的にその計算の方法となっていますので高砂市のみではないです。</p>
委員	<p>僕の勘違いかもしれないのですが、年が離れた子供さんに関しては、高砂市はそれを認めてくれていないという認識があったのですが、そういうわけでもないという理解でよろしいのですかね。</p>
事務局	<p>所得階層によって年の離れたお子さんでも認められる場合があれば、所得階層が高ければ年の離れたお子さんの場合は認められないというような判定になってきます。</p>
委員	<p>そうですか、分かりました。ありがとうございます。</p>
事務局	<p>補足ですが、先程の保育料の多子軽減の所につきましては、国の制度の適用を基本的には適用させていただいております。先程説明がありましたように、所得階層に応じて兄弟の年齢区分に関係なしに半額、又は無償というような所になっておりますけども、その大きな線引きにつきましては、基本的には年収ベース、監護の子ども、扶養の範囲でまた変わってくるのですが、おおまかに360万未満の世帯についてはそういった年齢制限というのが関係なく、兄弟の第二子、第三子であれば、半額又は無償というような所でございます。</p> <p>360万円以上についてはそういった所得階層に応じた、年齢区分に応じた保育料という所と、もう一つは高砂市独自の保育料の軽減という所なのですが、こちらに関しては先程主幹が説明しましたひょうご保育料の軽減事業という所で、そういった国の制度の対象とならない方については軽減の助成を行っております。</p> <p>また、国で定められている保育料に関して市が独自でその部分については保育料の一部軽減をしているという所で、できるだけ所得階層が低い、所得が低いような方につきましては利用がしやすいような制度というようなことで、高砂市独自で行っている部分がございます。</p> <p>以上補足です。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。よろしいでしょうか。</p>

事務局	<p>では次に議題2について事務局から説明をお願い致します。</p> <p>議題</p> <p>(2)「荒井幼稚園の3歳児の実施について」</p> <p>【 事務局より説明 】</p> <p>ただ今の説明につきましてご意見、ご質問ございましたらお願い致します。</p> <p>現在、荒井幼稚園は3歳児さんが在籍されていない、そこで3歳児を実施するという事で何かご質問ございませんでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、荒井幼稚園の3歳児実施についてお認め頂けますでしょうか。</p>
部会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>続きまして議題の3について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議題</p> <p>(3)「その他」</p> <p>【 事務局より児童虐待防止月間、今年度の子ども・子育て部会についての説明 】</p>
部会長	<p>議題については以上でありますけれども、今現在コロナ禍が落ち着いたような状態になっていると思いますが、園では何かその対策とか、コロナ禍における状況ですね、子ども達の状況はいかがでしょうか。感染防止という事で色々大変な、保育士さんの方がされていると思いますが、何か工夫されていたり、こんな事があるというような問題もありますでしょうか。</p>
委員	<p>園では保護者さんが登降園の際にはアルコールを設置しているのと、あとは検温ですね、検温してから登降園をしています。うちの園はですけども、保護者さんはできるだけ敷地内は入るのですが、室内にはあまり侵入しないようにしてまして、お迎えに来られましたら玄関で待機して頂いて、子どもさんの方を連れて来るという形を取らせてもらっています。</p> <p>あとはこまめにノブや取手とか、子どもが触るような所、大人が触るような所色々な所をアルコールでこまめに消毒させてもらっています。</p>

<p>部会長</p>	<p>色々ご配慮されて感染防止の安全対策をされているという事で、ありがとうございました。</p> <p>学童保育ではいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>学童保育も同じようにアルコール消毒、おもちゃ等もアルコールを吹き付けて乾かしてから帰るといふのと、それから触ったおもちゃを触った箱に入れる、という形で次に触らないというような形を今は取っています。それから保健所さんとも色々話をさせてもらって、換気、それから消毒。夏場であつたら空調が強く当たる所の窓の棧等にもウイルスが風に飛んでひつつくというような事を勉強させていただきましたので、そういった所もこまめに拭いていくというような事をさせて頂いています。</p>
<p>部会長</p>	<p>保護者の方はいかがでしょう。</p> <p>何か子どもさんの家庭での感染防止等で気を付けて頂いている事や、あるいは質問等があればお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>家で気を付けている事と言つたら手洗いうがいさせる事と、外出時にはマスクをさせるという事をしてるぐらいかなと思います。幼稚園では保護者は園舎内にあまり入らないようにしていたり、検温してから登園と言う事になっているのと、幼稚園の方でも園児の帰つた後に床の掃除等をして頂いているというようなお話は聞いています。</p>
<p>部会長</p>	<p>私が調査をさせて頂いた園などは、0歳児1歳児が人形を舐めたりする事があるのですが、そこから黄色ブドウ球菌とか大腸菌等が出てきたりいたしまして、普段使っている物の中で大丈夫だなと思う中でも、目に見とえないものですから非常に細菌とかウイルスとかっていうのはわかりにくいと言う事で、先生方も大変に苦労されているな思います。</p> <p>絶えず消毒したり洗ったりっていうような事で色々ご苦労されているなっていう風に思っております。</p> <p>公立の幼稚園の方はいかがでしょう。</p>
<p>委員</p>	<p>まず行事の人数の制限をさせて頂いています。</p> <p>当初は保護者の皆様も子どもの様子を見たいという事で、何で1人なの、もっと増や</p>

	<p>せないですか、という事も繰り返し繰り返し言われてきたのですけれども、子どもの事を思ってという所から、それにプラスしてお母さん方も意識が高まって、もし人数江尾増やしたことでコロナが広まったら私たちも預けられなくなる事が1番困る、という事で、最初の人数制限をした時は、私たちも大変迷いがあったのですが、そこを思い切って人数制限させてもらった事で今の状態が維持できているかな、と思っている所です。保護者の皆様が意識高く持ってもらった事で、今こうして子ども達、そして預けて頂けるという事に感謝しつつ、皆の協力あってこそだな、というのは感じている所です。</p> <p>そして何より、難しい事を抜きにして、手洗いの徹底は本当に大事なと、お母さん達にも伝えていきます。水だけでも落ちると聞いていますので、それに石鹸やアルコールがプラスされると菌も落ちるということで、手洗いの徹底は繰り返し伝えさせてもらっている所です。</p>
<p>部会長</p>	<p>手洗いは本当に水洗いだけでも落ちるということで、水回りは本当に菌が多いですよ。大変だと思います。</p> <p>小学校ではいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、小学校におきましては、学力保障という所から、学びを止めないという事を基本の原則として、教育委員会の方では非常によくやって頂いています。学校支援、それから感染対策に対する指導もそうですけれども、予算措置も含めて今回のコロナに関しましても非常にありがたいと思っています。</p> <p>その中で、園と比べて学校というのは施設の規模も大きいですので、園同様に毎日のいわゆる感染防止対策という事で消毒作業、これについては継続して行っている中で先生方の業務量も非常に増えているのが現実です。</p> <p>今、園からもありましたように、いわゆる1つの行事をするにしても人数制限というのは当然出てくるのですが、学校規模が市内10小学校ありますけれども、中学校だったら6中学校、学校規模が全然違うので、結局家庭数ですね、児童数から出てくる家庭数が全然違うので、1人1名にするのか2名にするのか、これは学校規模によって人数が違って来る。それから1つの行事を、運動会1つとっても子どもの数が違うのでどうしてもかかる時間が違って来るので、種目数も違って来る。この辺を一律に比べられると、大きい学校小さい学校によって非常に差が出てくるので、この辺についてはいわゆるこの非常時ですね、感染防止対策をまず徹底して、クラスターを発生させずに学び</p>

	<p>を止めないという中では、学校規模であるとか、この状況というのは保護者の方にご理解を頂きたいな、という風に思っています。以上です。</p>
部会長	<p>続けてなんですけれども、今日テレビで生活習慣の睡眠の所で、小学生のお子さんが遅く寝て朝起きれない子どもさんが出てきているのを見たのですけれども、そういう傾向はございますでしょうか。</p>
委員	<p>生活習慣ですか。</p>
部会長	<p>はい、生活習慣、睡眠ですね。睡眠障害が出てですね、朝起きれないという事で登校ができない子どもさんがいるという報道が朝あったのですけれども。</p>
委員	<p>従来からこの睡眠の大切さっていうのは我々もよく理解している所で、基本的な生活習慣の育成というのは家庭と連携して学校もやっておりますけれども、いわゆる食育と同じように眠育、睡眠の眠に育てると書く眠育っていうのは我々も重要性は認識しています。</p> <p>ただ今言われるような睡眠障害があるっていうような事での、本校においては、そのようなお子さんについては見られないかな、と思います。</p> <p>それよりもこれは全国的にも、我々も少しずつ感じる所ですけれども、昨年からのコロナの影響による目に見えない子どもへの負担であるとか、保護者さんへのストレスですね、この辺が何らかの形で子どもの成長とか、それから方向に影響してきているのではないかと言われますけれども、その辺はなんとなく感じる所はあります。</p>
部会長	<p>色々とお話を聞いて聞かせて頂いたのですけれども、何か質問等、議題の内容でも結構ですし、今お子さんを育てになられている保護者の方々も何か質問がございましたら、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>先程もお話があったのですが、幼稚園と就学前の子どもがいるのですが、コロナで幼稚園とかすごい人数制限があるのでやっぱり参加とかがしにくかったりします。それは仕方ないのですが、どういうフォローをしてあげたらいいのかなと、ずっと私も悩んでいるのですが、何か教えて頂けたら参考にさせて頂けたらと思うのですが。</p>

部会長	いかがでしょうか、お願いします
委員	<p>保護者の皆様、お子さんのお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃん、皆で支えて応戦して行事を見たいという気持ちがいっぱいられるのは、今回うちの園でも、運動会をしましてアンケートを取ったら、一人ひとりよく見られて楽しかったけどこれをおじいちゃんおばあちゃん、夫にも見せたかった。冗談ですけど。参加するのに喧嘩したのですよ、というような事が書いてあった所です。</p> <p>誰か1人の参加となった場合に、見る事ができないけれども、離れていても応援しているよ、とか、日頃からの励ましを、うちの園で見たいからしてくださっていて、日頃からお兄ちゃんお姉ちゃんも見るのはあなたの事が大好きだから、今日代表で見るのはお母さんだけ明日楽しみにしているよとか、見る時の事だけでなく、運動会や行事に行くまでの過程を日頃からお家で認めていただいていたら、当日子どもはいつも通り堂々として、それを誇らしげにお家で伝えると思うので、本当に日頃の生活、一つひとつを認めて頂けたら園としてはありがたいかな、と思います。以上です。</p>
部会長	よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。何かございますでしょうか。
委員	<p>コロナの話も出ましたし教育現場の方々もいらっしゃるので、医療機関の方で困っているとか願いがあるのですけれども、状況としてかなりコロナは落ち着いてきました。落ち着いてきたのですけれどもコロナが多い時には、家庭内で体調不良がある時に、例えば小学校4年生のお兄ちゃんが調子悪いっていう事で他の子ども達ですね、家族で調子が悪い人がいたら学校に行けない、園に行けない。当初コロナが蔓延の時には感染予防という事で発生する前から感染力があると言われていた病気ですのであったのですけれども、それが、コロナが落ち着いて高砂市もそうですが、全国的にも落ち着いた状況でも現場が変わっていない。学びの場を確保する、学びを止めないと言われてきたけれども、そこがちょっと学びを止めているのではないかと。もうそろそろコロナが落ち着いてきたので、体調不良の子どもさんは学校に行ってはいけない、園に行っても行けないこれは徹底されてきたと思いますけど、その家族、調子の良い子どもたちの学び等を考えていかないと、子ども達やその親御さんも大変かなと思っています。状況が変わってきたので考えて頂けたらと思います。</p> <p>あともう1点、今回新しいワクチンが出てかなり有効だという事で、ワクチンは大切</p>

	<p>な物だという事が特に日本は12歳以上でコロナのワクチンの有効性っていうものが確実なものになりました。他のワクチンです、本当にこの10年間で色んなワクチンが増えてきましたので、園でも学校でもワクチンの大切さっていうのを子ども達に医療機関だけじゃなくて自分の命を守る物なのだ、大切なものなのだという所の教育も進めていってあげたら保護者の方にも、いろんなワクチンがあるのだからワクチンは受けていこうっていうような事を子どもたち、あるいは保護者の方にも啓発、情報を提供するような状況を作っていって頂けたらと思っています。また園、学校の方もよろしく願いできたらと思います。</p>
部会長	<p>ご質問の方はよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>少し戻りますが、3歳児が荒井地区でも始まるという事で現在の3歳児の就園状況です、3歳になった子どもの何割ぐらいが集団生活をしているのかという事と、その内訳、公立と私立の半々ぐらいなのか、どの程度で今行っているのか、もしデータがありましたら教えて頂けたらと思います。</p>
事務局	<p>令和3年度4月現在、3歳児のお子さんは645名おありまして、そのうち就園しているお子さんは603名、就園率93.5%になっております。そのうちの公立、私立の内訳等ですけれども、申し訳ありません、今すぐ数字が出ないのですが、この93.5%の中には市外の園であったり、認可外に行っているお子さん等も含んでおります。以上です。</p>
部会長	<p>色々ご意見を頂きましてありがとうございました。それでは意見を頂いて、皆さんお認め頂いたという事でよろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>それでは以上をもちまして令和3年度第1回高砂市子ども・子育て部会を終了させて頂きます。本日はありがとうございました。</p> <p>閉会</p>

